“いのち”から原発を考えるシンポジウム

日時　3月3日（土）午後1時受付 1時30分開始
会場　奈良県社会福祉総合センター大ホール

近鉄畝傍御陵前下車東出口から北東へ３分 橿原市大久保町320番11電話0744-29-0111（大代表）
資料代　500円　　託児（先着10名・要予約　担当／堀田）手話通訳有り

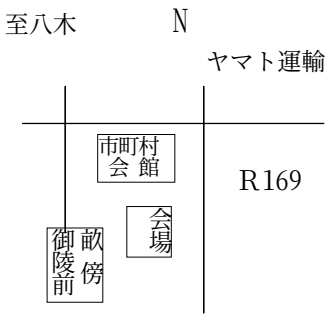
小浜・明通寺住職中嶌哲演さん

阪南中央病院副院長村田三郎さん

自然農法による農業者
村上真平さん

シンポジウムでは、若狭･小浜で原子力発電所を建てさせない運動を続け、原発に対する警告を発し続けている中嶌哲演さん、原爆被爆者の健康診断や診療、実態調査、原発労働者の被ばく労働に関する労災認定に尽力し、低線量被曝による放射線障害、内部被曝の危険性に警鐘を鳴らし続けてきた阪南中央病院副院長の村田三郎さん、福島県飯館村で自然農法による農業に従事してきた村上真平さんを迎え、「いのち･原発」について考え、多くの県民のみなさまとともに考え、手をたずさえて原発が必要のない社会をめざしたいと思います。 ぜひお誘い合わせのうえ参加してください。

呼びかけ人（50音順･敬称略）
井戸芳樹（奈良革新懇･医師）　稲次直樹（健生会土庫病院･医師）　上殿紀久子（奈良のうたごえ協議会）　内橋裕和（弁護士）　菊地淳一（奈良教育大学准教授）
倉本みゆき（サークルおてんとさん）　今 正秀（非核の政府を求める奈良の会）
坪井裕志（奈良反核医師の会）　堀田美恵子(奈良脱原発ネットワーク、nara-action)
溝川悠介（原発ゼロへ･生駒の会）　宮崎快尭（白毫寺住職）　寮美千子（作家）



主催　いのちから原発を考える会　　振り込み口座00960-3-226938

後援　奈良県　五條市　奈良県保険医協会　奈良宗教者平和協議会　奈良新聞社
朝日新聞奈良総局　読売新聞奈良支局　毎日新聞奈良支局（2/4現在）

問い合わせ･申込み　堀田美恵子　0742-71-8795　　北野重一　090-8215-2440
e-mai l: ino.gen2012@gmail.com